

菜園プログラムハイライト 2025

558 菜園 (累計値) 地域の食と学びを支えています



ケニア

2025年には、エチオピア、ケニア、ザンビア、タンザニア、マラウイ、ルワンダの6か国で、新たに64か所の菜園が設置されました。また、これまでに設置された120か所の菜園を対象に、活動継続を支援するための研修会を開催するとともに、必要な備品の追加購入も行いました。

多くの菜園では、家畜の糞や食べ残しを活用した堆肥が用いられています。灰を害虫対策に利用するなど、身近な材料を生かした栽培も行われています。菜園には、地域住民が参加するコミュニティ菜園と学校菜園があり、学校菜園では、収穫した野菜を給食に活用したり、市場で販売して得た収益を学校設備の充実に活用したりする取り組みが行われています。

活動国や地域が多岐にわたる中、地理的な距離を越えてつながるために作られたSNSグループでの交流や情報交換も、これまで以上に活発になっています。参加者は菜園や収穫物の写真を共有するほか、害虫や作物の生育状況について質問を投稿しています。また、グループ通話機能を活用したオンライン勉強会も毎月開催されており、各地域の代表者が菜園の特徴や工夫、今後の目標などを共有する場となっています。



ケニア



ルワンダ